

血液腫瘍内科学

責任者：石田 陽治 教授

教育成果（アウトカム）：

診断・治療とその原理を理解し、個々の病態に即した対応をすることで、血液疾患患者に対し、血液疾患および全身の問題点を把握し、適切に解決することができる。

行動目標（SBOs）：

- *1. 患者さんと医療面接・診察を行い、病歴・身体所見をカルテに記載する。
- *2. 面接と診察から得られた情報に基づいて、患者の状態を説明し、検査計画をたてる。
- *3. 血液・生化学検査を説明する。
- *4. 骨髄・画像所見を説明する。
- *5. 上記の情報に基づき、患者の病態を説明する。
 - 6. EBMに基づいた治療方針をたてる。
 - 7. 末梢血および骨髄塗抹標本作製を行い、血球形態を理解し、診断する。
 - 8. 造血器悪性疾患による抗腫瘍化学療法施行中の患者さんについて、適切な補助療法を行う。
 - 9. 幹細胞移植の適応・方法を知る。

特に留意すべき注意事項：

1. 患者さんに接する際には、感染予防のため、手洗いを励行し、マスクをする。
2. 主治医としての自覚を持って、毎日患者を診察する。異常所見を認めた場合には担当医に速やかに連絡する。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール [血液腫瘍内科学]

[第1週]

指導医師名：①石田陽治教授 ②小宅達郎講師 ③青木有正助教 ④古和田周吾講師 ⑤藤島行輝助教 ⑥鈴木雄造助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション	外来実習、BST	BST、ミニレクチャー	BST・チームミーティング
[場 所] [指導医]	[医局] ④	[外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	[中 7F 病棟] ②④⑤⑥	[中 7F 病棟、中 7F ゼミ室] ②⑤⑥
火	抄読会	総回診	ミニレクチャー	BST
[場 所] [指導医]	[中 7F ゼミ室] ①	[中 7F ゼミ室] ①②③④⑤⑥	[中 7F ゼミ室] ②③④⑤⑥	[中 7F 病棟] ②⑤⑥
水	BST	BST	BST	BST
[場 所] [指導医]	[中 7F 病棟] ②⑤⑥	[中 7F 病棟] ②⑤⑥	[中 7F 病棟] ②⑤⑥	[中 7F 病棟] ②⑤⑥
木	外来実習、BST	外来実習、BST	BST、ミニレクチャー	標本検討会、BST
[場 所] [指導医]	[外来、中 7F 病棟] ①②⑤⑥	[外来、中 7F 病棟] ①②⑤⑥	[外来、中 7F 病棟] ②③④⑤⑥	[外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥
金	外来実習、BST	外来実習、BST	ミニレクチャー	BST
[場 所] [指導医]	[外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	[外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	[中 7F ゼミ室] ②③④⑤⑥	[中 7F 病棟] ②⑤⑥

[第2週]

指導医師名：①石田陽治教授 ②小宅達郎講師 ③青木有正助教 ④古和田周吾講師 ⑤藤島行輝助教 ⑥鈴木雄造助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	外来実習、BST [場 所] [外来、中 7F 病棟] [指導医] ①②③④⑤⑥	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	ミニレクチャー [中 7F ゼミ室][血液検査室] ②③④⑤⑥	BST・チームミーティング [中 7F 病棟、中 7F ゼミ室] ②⑤⑥
火	抄読会 [中 7F ゼミ室] ①	総回診 [中 7F ゼミ室] ①②③④⑤⑥	ミニレクチャー [中 7F ゼミ室] ②③④⑤⑥	BST [中 7F 病棟] ②⑤⑥
水	BST [中 7F 病棟] ③⑥	BST [中 7F 病棟] ③⑥	B S T [中 7F ゼミ室] ③④	BST [中 7F 病棟] ③④
木	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②⑤⑥	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②⑤⑥	ミニレクチャー、口頭試問 [中 7F ゼミ室] ②③④⑤⑥	標本検討会、BST [中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥
金	外来実習、BST [外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	外来実習、口頭試問 [外来、中 7F 病棟] ①②③④⑤⑥	ミニレクチャー [中 7F 病棟] ④	BST [中 7F ゼミ室] ②⑤⑥

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	心・腹部超音波検査装置	1台	患者の評価に使用する。
診断用機械	骨髓穿刺針	5本	骨髓検査に使用する。
診断用機械	ライト液・ギムザ液	各1本	標本の染色に使用する。
実習用機械	骨髓塗抹標本	20枚	標本実習に使用する。
実習用機械	スライドガラス	1箱	末梢血実習に使用する。
視聴覚用機械	マルチディスカッション顕微鏡	1台	血液標本を同時に観察する。
視聴覚用機械	ノート型PC (I-Book G3)	1台	臨床実習における講義に使用する。
視聴覚用機械	デジタルカメラシステム (PixeraPro150ssPro150ss)	1台	臨床実習における症例検討
その他	パソコン (I-mac17インチ 1.83GhzIntelCoreDuo)	1台	臨床実習における症例検討などのデータ作成
その他	複合機 (DocuCentre II C3300PFS)	1台	臨床実習における資料作成
その他	臨床データ統計処理用端末 (VGN-G1KBN)	1台	講義資料作成
その他	ノートパソコン (2.16GHz Intel Core2Duo)	1台	講義資料作成
視聴覚用機械	パソコン (MacBook 2.1GHz Intel Core 2 Duo-White)	1台	講義・実習資料作成
視聴覚用機械	学術画像参照用端末 (MB324J/A-D)	1台	講義・実習資料作成

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 出席点：20点
2. 実習評価1（教員による学生評価シートⅠ）：10点
3. 実習評価2（教員による学生評価シートⅡ、症例レポート、経過表・カルテ記載、ポリクリ感想）：20点
4. 実習初日試験：25点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25点